

# 自己評価結果公表シート

(令和4年度)

作成 光明幼稚園  
光明第二幼稚園

## 本園の教育理念、方針、目標

### 教育理念

安心できる物的・人的環境のもと、幼児(保護者)と保育者の信頼関係を培い、あそび・まなびを通して心と体の成長を促し、ともに育ち合える保育を目指す。

### 教育方針

- 1、思いやり、優しさといった宗教的情操を養う。
- 2、友だちと仲良くし、集団の中で社会性を育てる。
- 3、よく見、よく考えるなどの知的好奇心を育てる。
- 4、自分でできることは進んでやりとげる自主性を育てる。
- 5、すぐれた環境のもとで楽しく遊びながら健康な体づくりに努める。

### 具体的な教育目標

- 園生活を楽しみ、いろいろな遊びを活発に行うとともに、基本的な生活習慣や態度を身につける。
- 人との関わりの中で社会生活に必要な習慣や態度を身につけ、主体的に行動し充実感を味わう。
- 自然や身近な事象に興味や関心を持ち、豊かな心情や知的好奇心を高める。
- 生活の中で言葉を使って表現する意欲や態度を育て、伝え合う喜びを味わう。
- さまざまな表現を楽しみ、意欲的、創造的にあそびや活動に取り組み感性を養う。

## 各学年の教育目標

- 満三歳(おおむね3歳) 保育者や友だちと遊ぶ中で、自分のしたいこと、言いたいことを言葉などで表現する。
- 年少(おおむね4歳) 生活や遊びの中で、保育者や友だちとの関わりを広め、一緒に活動する。  
園生活の中で、自分の身の回りのことを自ら行おうとする。
- 年中(おおむね5歳) 友だちと一緒に活動するなかで、自らの思いを相手に伝えあうことで、友だちとの関わりを深める。
- 年長(おおむね6歳) 一つの目標に向かい、友だちと力を合わせ活動し、主体的に園生活を進め、達成感を味わう。

○評価項目の達成及び取組状況(光明幼稚園・光明第二幼稚園)令和4年5月自己評価より

A=できている、B=おおむねできている、C=あまりできていない D=課題である

評価事項	主な評価項目	評価	取組状況と課題
教育方針 経営方針 事業運営	教育方針・目標の検討と公開 事業計画と園務分掌	B B <sup>+</sup>	教育目標とカリキュラム再作成し5年目、より自発的で、共同的な保育を目指す。園の方針等の周知を園だより等で発信していく。 誰もが他の仕事や保育が手伝える体制づくりをより充実していく。
教育保育の ありかた	指導計画と実施、評価 幼児のみとりと理解	B B	日々、保育の振り返り実施中、保育の充実・経営にも反映したい。 自己評価もふまえ、より子どもに寄り添いながら、意欲向上の両立。
教員資質向 上と処遇改善	処遇改善 教師としての資質と保育 の向上 園内研修・園外研修	A <sup>+</sup> B B	処遇は県有数の給与水準を維持、仕事負担のさらなる軽減。 県および連盟主催の研修、その他真宗(仏教)保育研修、犬山市研修も例年参加しているが一昨年よりリモート研修が多い。 園内研修の学びの機会増、外部研修内容の共有を図っている。
保護者と地域 社会	保護者対応 地域社会との関わり	B <sup>+</sup> C <sup>+</sup>	保護者との保育子育て課題の共有を発信していく。 前年はコロナの為、施設交流、中高校生職業体験は、極端に減少
安全・防災・ 情報管理	危機管理	A <sup>+</sup>	耐震2010年完了。県警防犯システム完備。緊急メール配信。安全教育の年間計画を作り実施している。
	幼児の安全・衛生	A <sup>+</sup>	防災訓練(地震火事)を年4回以上実施。AED、アレルギー対応研修をおこなっている。2020年度に机を1人用、2人用に全入替、その他エアコン感染症対策を各種実施し病欠は減少している。
	情報管理	B <sup>+</sup>	PCでの個人情報の管理は限定的にとどめ手書き管理も実施。 守秘義務の指導徹底、個人情報の裁断焼却。
施設設備関 係	園舎・園地・設備・遊具等 の整備・管理	B <sup>+</sup>	遊具は定期点検、修繕を毎年実施。安全第一に修繕を逐次実施。 園内等での栽培で園児が係わる保育に課題。
子育て支援 活動など	子育て支援	B	第二幼稚園園庭開放、光明は2歳児親子教室実施。
	満3歳児受け入れ	B	今年度、両園とも5月から実施し、30名程度ずつ入園。
	預り保育・延長保育	B	朝8時から9時と午後5時まで。1~2割程度の園児が利用。
	特別支援教育	B	犬山市未来センターとの連携し、親にも助言がある。今後も親の理解を図り、県や他の市町とも連携して模索。
各機関との連 携	小学校との連携	A	市町の指導のもと、小学校との課題共有のための会議等を定期的実施し、今後も継続。犬山市は私立と情報交換の機会を設けている。
	市町村との連携	B	

○今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
地域との連携、子育て支援事業の充実	地域の幼児教育・保育情報の共有、センター的役割を担う情報発信と場の提供をより充実していく施策を模索・実施していく。
安心安全の保育と設備	今年度も、幼児の視点に立った安全教育計画を策定した。安全訓練の継続。園舎設備の安全化をはかり改善をはかっていく。
幼児の成長と保育計画	3年度は作品展を教育的配慮もあり、他のあり方に解消。今後も園行事のあり方と教育目標との関連を検討し、改廃も含め、改善していく。今後も幼小の連携を考え、各学年の連続性も留意する

○財務状況

県の指導に基づき会計処理し、監査を経て公認会計士により適正であると認められている。